

ほうふ  
Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.9

平成20年5月15日



東大寺別院阿弥陀寺(平成19年あじさい開花時撮影)

## 3月定例議会

議案の概要

P2～P3

要望

P3

一般質問

P4～P9

議会日誌

P12

常任委員会の審査報告

P10～P11

6月定例議会の予定

P12

# 平成20年 3月 定例議会

3月定例議会は、2月25日から3月24日までの会期29日間の日程で開催されました。

平成19年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成20年度一般会計予算・特別会計予算をはじめ、後期高齢者医療に関する条例の制定、国民健康保険条例の一部改正、市立保育所設置条例の一部改正など議案41件、選任2件、承認1件、報告3件、決議2件が審議され、原案どおり可決されました。

主な議案とその審議経過の概要をお知らせします。

## 条例

### 水防条例の一部改正

近年、防災意識も高まり、各自治会における自主防災組織の設立も進み、災害時には水防団員がその活動を行っていることなどから、水防委員を廃止するものです。

### 後期高齢者医療に関する条例の制定

老人保健法の改正に伴い、本年4月1日から始まった後期高齢者医療制度の事務を行うための条例が制定されました。内容としては、市の保険料徴収の対象となる被保険者、普通徴収に係る納期、国の激変緩和措置に伴う被扶養者であった被保険者に係る平成20年度における納期の特例等について定めるものです。

### 事務分掌条例の一部改正

組織機構の簡素化及び効率化を図るため、工事検査監室と入札監理課を統合して、入札検査室を設置し、また後期高齢者医療制度の実施に伴い、主たる事務を生活環境部で行うためのものです。

### 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

職員給与の適正化のため、調査指導手当の一部を廃止するとともに、後期高齢者医療制度の実施に伴い、徴収事務従事手当の支給対象者に後期高齢者医療保険料の徴収等に従事する職員を加えるものです。

長期継続契約を締結することができるとする契約を定める条例の一部改正

公用車、衛生設備用機器及び発電機の借り入れに関する契約並びにこれらに付随する保守点検業務に関する契約について、長期継続契約を締結することができるとするものものです。

### 特別会計条例の一部改正

後期高齢者医療制度の実施に伴い、新たに後期高齢者医療の円滑な運営と経理の適正を図るため、特別会計を設置するものです。

### 市立保育所設置条例の一部改正

行政改革委員会の答申を受け、市立保育所について民間移管への取り組みを進めた結果、平成21年3月末をもって、三



平成21年4月から民間移管されることになった市立三田尻保育所

田尻保育所及び西須賀保育所については、市立保育所としての設置及び運営を廃止し、社会福祉法人へ移管するものです。

### 介護保険条例及び介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正

税制改正による高齢者の非課税限度額廃止に伴う影響を受ける介護保険の第一号被保険者の保険料について、平成20年度も引き続き昨年度同様の措置を講じるものです。

### 国民健康保険条例の一部改正

健康保険法等の一部を改正する法律の施行等に伴うもので、保険料の基礎賦課限度額を引き下げるとともに、保険料の賦課額に後期高齢者支援金等賦課額を加え、国の基準に準じて、その算定方法を規定、及び後期高齢者医療制度実施に伴う保険料の軽減措置を定めるものです。

### 市営住宅設置及び管理条例の一部改正

市営住宅入居者の生活の安全と平穏を確保するため、暴力団員の排除を目的とし、入居制限等の措置を講じるものです。

### 消防団員及び水防団員の報酬及び費用弁償条例の一部改正

機関取扱者に対する報酬は廃止し、業務従事者の報酬を3千円に増額、水災その他の災害の防衛警戒のため出動した場合の費用弁償は、一回につき1時間未満4千円、1時間以上6千5百円となりました。

## 人事・一般議案

### 監査委員の選任

内部監査機能の充実を図るための定数増加に伴い、識見を有する者から税理士の竹下勝美さん(下右田)が選任されました。

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

委員退任に伴い、村武俊宏さん(国衛三丁目)が選任されました。

## 予算

### 平成19年度一般会計補正予算

平成19年度一般会計予算総額から、歳入、歳出それぞれ9億2、377万2千円を減額しました。内容は、決算見込みによる補正が主なもので、原案どおり可決しました。平成19年度の一般会計予算は総額359億3、867万円となりました。

### 平成19年度特別会計補正予算

競輪、国民健康保険、索道、同和地区住宅資金貸付、公共下水道、老人保健、介護保険事業の7特別会計について、いずれも原案どおり可決しました。

### 平成19年度水道事業補正予算

水道、工業用水道事業の2会計について、いずれも原案どおり可決しました。

### 平成20年度一般会計予算

平成20年度特別会計予算  
平成20年度水道事業予算

平成20年度の一般会計予算に、357億6、800万円、特別会計予算に419億5、458万7千円、水道事業予算に、43億1、513万6千円が計上されました。

賛成多数で原案どおり可決しました。委員会での審査経過等は、10、11ページをご覧ください。(予算規模等は、市広報4月1日号に掲載されています。)

## 決議

### 市民生活を支える道路整備財源の安定的な確保を求める要望決議

道路は、豊かな市民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基本的なインフラであり、地方においては主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ、防災対策、通勤・通学、救急医療などの生活道路の面や、交通渋滞の解消、バリアフリー化、電線類地中化、老朽化した橋りょうの維持管理等においても、道路整備はまだまだ不十分です。そこで、平成20年度以降も現行の税率水準を維持する法案を確実に成立させることにより、安定的かつ確実な道路整備のための財源として確保すること等を強く要望する決議を賛成多数で可決いたしました。

### 平成20年度一般会計予算に関する 附帯決議

観光交流施設については、3月中に事業認可申請の提出をしなければ、事業採択が困難となるスケジュールになっているにもかかわらず、その基本構想・基本計画が策定されておらず、十分な検討がされていないことから、実施計画の策定に入る前に、市民、関係者、議会と十分な協議を図ることが全会一致で附帯決議されました。

## 会長に行重延昭議長 山口県市議会議長会

4月4日に美祢市で開催されました第74回山口県市議会議長会定期総会において、防府市議会議長が山口県市議会議長会会長に選任されました。

## 市議会で工業科の設置を要望 防府商業高校に新設が決定



去る2月20日に市議会を代表して議長外1名で山口県教育長に防府市内の県立高等学校に工業科の設置を求める陳情を行いました。

このことについては、平成17年6月29日に市議会において、県立工業高等学校の設置を求める要望決議を全会一致で可決した経緯をふまえたものです。

市議会の要望に対し、県立高等学校の再編を進める山口県教育委員会は、去る3月5日に、防府商業高等学校に工業科を新設する方針を明らかにしました。

# Q&A 一般質問



3月定例議会では、17名の議員が市政をただしました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を6月下旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

## 市民と一緒に作る 財政白書を

伊藤 央ひさし(息吹)

### 市民と作る財政白書を

**問** 市民参画の推進には、市民に市財政についての知識を持つてもらうことが重要。中期財政見通しの内容はとつきにくい。市民と行政が共同で、防府市の「財政白書」を作ってみてはいかがでしょうか。  
**市長** 決算処理で膨大な資料を短期間で処理せねばならず、市民と共同での財政白書作成は困難。



市民と共同でつくった日野市の財政白書(日野市HPから)

事例こそ市民と協働で進めるべきではないか。

**市長** これらは行革委員会から答申をいただいたもの。今後も積極的に情報の提供、公開を行い市民の意見を反映したい。  
**要望** 全庁的に市民参画、協働への取り組みの意識を持たなくてはならない。職員の意識を改革することが本当の行政改革。

### 市政メルマガの発行を

**問** 情報発信の手段として市からのお知らせやイベント情報、公民館事業の情報、休日当番医の情報などを盛り込んだメールマガジンの発行はできないか。

**総務部長** メールマガジンは市政情報発信の有効な手段と考えている。現在運用している「防府市安心安全情報システム」に、組み込んで実施できるか、研究したい。

### 全ての施策推進に市民参画の意識を

**問** 公立保育所の民間移管、小学校給食調理業務の民間委託など、市側の一方的な進め方で市民の反発を招いた。こういう

## 「地域経済活性化」を目指して

安藤 二郎(みどりの会)

**問** 企業誘致のための新たな組織を考えているか。

**市長** 今後は、面倒見のよい「防府市」を目指し、新年度からはワンストップ・サービスの行える担当部署として、企業立地推進室を設置いたします。

**問** 国ではさらに「地域経済活性化のために」「中小企業地域資源活用促進法」を策定しております。これに対する対応は。

**産業振興部長** 県におきましては、昨年「山口県地域産業資源活用促進基本構想」を策定、それに伴い防府市においては、



地域資源の活用例(クマノブランド化粧筆)

昨年1月、地場産業振興センター内に「売れるものづくり支援事業委員会」を設置、今年2月からは相談員が企業を訪問し種々の情報提供に努めております。

**問** 今年は魚市場に潮彩市場が開場しますが、これを防府市として有効活用する施策を考えているか。

**土木都市建設部長** これらの活用については、海の駅事業とみなとオアシス事業がありますが、みなとオアシスを申請するよう計画しております。

**問** 県内産木材の活用について県では助成金制度を設けているが、地域活性化の一環として、県の制度に30万円程度の上乗せ助成はどうか。

**市長** こうした事業に防府市内でも参画しているようですので、全体のバランスを考えて慎重に検討したいと思えます。

# 「芳府」梅の香りのまちづくり 梅一万本の植栽計画

今津 誠一（六日会）

**問** 防府市といえば天満宮、天満宮といえば菅原道真公が愛した梅を連想するが、この梅を活かしたまちづくり、梅一万本植栽計画を提案する。天満宮周辺にある、1、100本の梅を拠点に休耕田や市有地等に梅を植栽し美しい景観形成、観光資源、産業の創出、休耕田の活用、健康等に活かしては、



計画実現のため、企画政策・都市計画・観光振興・農業農村の関係4課で庁内協議会を発足させては、

**市長** 夢のある計画で、観光客誘致の起爆剤にもなるので発足させたい。

## アンテナ職員の配置

**問** 全国の自治体において職員等の英知を集め画期的な施策を展開・実施している市町村がある。一段と質の高い行政を実現するため、これらの情報

を収集し活用するシステムづくりとして、アンテナ職員の配置を提案する。

**市長** 本市に有益な情報を収集し施策の計画・実施・検証に取り入れるシステムで大変有効な方法と考える。

## 産官学共同

**問** 産官学共同は大学等の研究成果を行政や地域の振興に活用するシステムとして注目・評価されている。本市も産・学との正式な連携協定を早急に締結しては、

**産業振興部長** 今後研究を進めて参りたい。

## 企業家の育成・支援

**問** ベンチャー等、起業の促進は市の再生に不可欠。若者・女性・退職者等が起業しやすい環境をつくるため、仮称「起業家育成支援条例」の制定を提案する。

**産業振興部長** 実効性や内容について研究したい。

# 水道事業の民間委託

藤本 和久（みどりの会）

**問** 水は、住民の命と暮らしに直結する最重要のライフラインで、それを供給する水道事業者は信頼に足る経営品質の持続が必要で、安易な民間委託はすべきではない。

一、長期経営戦略の中に民間委託を位置付けることが必要だが、  
二、将来的には、約40%を超える22人の業務を民間委託する計画だが、経営上大きな問題、  
請負労働者に直接指示が出せなく、組織として十分機能しないのでは、  
請負業者は数年の単位で定期的に入れ替わる可能性があるが、40%の人が入れ替わって本当に企業経営できるのか、  
請負労働者は、パソコンで市民の個人情報を見ることができると、それに対する対応は、  
水道事業管理者  
一、地域水道ビジョンを平成20年度に策定し、



二 業務責任者に指示することは可能なので問題ない。  
入札で業者が入れ替わっても、実績のある業者なので、経営上何ら問題はない。  
防府市個人情報保護条例を適用する旨の通達を出して、適正に管理する。

**再質問** 「問題ない」との答弁の根拠に信憑性がないので、再質問したが、納得できる答弁は得られなかった。

# 現場の全教職員が直営の継続を要望

木村 一彦（日本共産党）

**問** 昨年12月議会で小学校給食の民間委託は解明されていない疑問点もあり慎重審議すべきとして修正案が可決されたばかりですが、なぜまた同じ内容を上程するのですか。

**教育長** 平成19年度末に3名の給食調理員が退職し、このままでは年休も満足に取れない状況になるので…。

**問** 根底には退職者不補充という行革の答申があり、みずから原因をつくっておいて、だから民間委託が必要というのは理屈に合わない。事実上行革の答申が市政運営上の至上の方針となっているが、行革委員会は他と違う特別の権能を付与されているのですか。

**市長** そんなことはありません。

**問** 当該校の華城小では、校長と教頭をのぞくすべての教職員が、自校直営方式の継続を要望する署名を提出しているが…。

**教育長** 私のところにはまだ届いていません。

**問** 市立保育所の民間移管について、どのように保護者の同意を得るのですか。

**健康福祉部長** 4月から1年間おこなう合同保育の中でご理解を得ます。

**意見** 合同保育は議案が可決されてはじめて可能なのは。



華城小学校給食室

### もつと精神障がいの方々の 福祉充実を!!

高砂 朋子(公明党)

**問** 障害者自立支援法施行から約2年経過、身体・知的・精神の3障害一元化の福祉サービスが提供されることになってい

**市長** 現在の利用は、介護給付と訓練給付を合わせて67名、地域生活支援は4名となっている。

**問** 精神障害者保健福祉手帳保持の方が約500名、その内71名利用と少なく、サービス利用を必要とする方がまだ多くいらつしやるのではないかと心配している。もつと積極的にPRして、歩み寄りの心遣いのある取り組みをすべきでは。

**健康福祉部長** 3月の市広報で特集を組みお知らせして取り組む。

**問** これまで精神障がいの方々には福祉タクシーの交付がない現状を訴

えてきたが、今後外出支援のために交付の対象に入れるべきでは。

**市長** 新年度予算として重度の精神障がい者を対象にして助成を予算計上。

**問** 就労の広がりへの努力は、行政としても大変重要。その取り組みは。

**市長** 今後障がい者を受け入れる各企業やハローワークと連携を図つてまいりたい。

**問** 精神障がい専門の有資格者相談員を設置し、きめ細やかな対応をすべきでは。

**市長** 平成20年度より障害者自立支援協議会を設置し、相談業務を強化してまいりたい。



きめ細やかな窓口の対応を

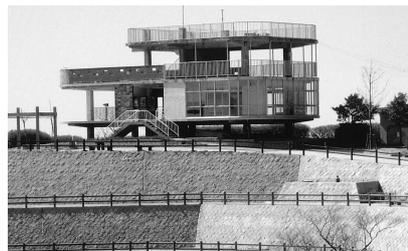
### 大平山ロープウェイの在り方について 存続したい…。が改善策が見えない。

大村 崇治(明政会)

**問** 大平山ロープウェイが来年3月50周年を迎えます。開設以来多額の繰入金を投じ平成19年度末の累積赤字は約20億4、500万円、登山道完成後の利用客は平成16年度38、908人、平成19年度見込み19、000人と大きな財政負担となつています。平成18年3月の索道事業検討協議会の意見書によると市民に

安らぎとゆとりを与えてくれる場であり抜本的な経営改革に取り組み3年ごとにこれを検証し悪化傾向にある時は外部委託、若しくは事業の廃止等を検討されたいとあります。市長は経営努力をしながら存続したいとの意向ですが新年度予算を見る限り耐震性の低い展望台、山麓・山頂駅舎の老朽化、バリアフリー化、索道施設の安全性、誘導案内看板などの改善策が

取られておらず、これでは廃止せざるを得ない状態といえます。



老朽化が著しい展望台

**市長** 索道事業検討協議会の意見書を受け、平成20年度を「50周年記念年度」と位置付け記念イベントなどソフト面を中心とした予算を計上、平成21年度以降駐車場から山麓駅舎へのアプローチ、展望台の休憩所、売店設置などハード面について年次の計画を立て改善してまいり防府市のシンボルとして今後とも安全運行を重視し魅力ある観光地となるよう努めてまいりたい。

農業者は農業人口や耕作面積が25年前の約半分となり、農業従事者の高齢化も深刻である。市内に農作業ボランティア団体はあるのか。

**市長** 「防徳旬の味ファークラブ」という団体があり、ボランティア作業に登録・参加される方が年々増加するという、喜ばしい状況です。

**問** 新規就農者の支援制度は、どのようなものか。

**市長** 原則として市外からの転入者が対象となり、研修生個人に対するものや、施設・機械器具の購入、農地を借りる場合等への補助があります。

**問** 英雲荘を活用し、茶道美術館を開設してはどうか。

**教育委員会参事** 茶道に特化した美術館とすることは困難ですが、歴史的経緯のある茶の湯の文化は、活用の重要な柱の一

つと考えています。

**問** 今年4月に開館する文化財郷土資料館の概要は、どのようなものか。

**教育委員会参事** 文化財保護課が移転し、業務を行います。資料館の展示室は月曜日以外を公開とし、11月には企画展の開催を予定しています。

**問** まちの駅に文化的資料や、防府独自の物産・土産を展示してはどうか。

**産業振興部長** 「見る楽しみ」も観光交流の重要な要素ですので、展示等については防府市ならではのものを提供したいと考えています。



英雲荘の花月楼

### 市の財政状況は健全か 新たな財源確保の取り組みは

河杉 憲二（六日会）

**問** 平成19年夕張市の財政破綻を機に財政健全化法が公布されたが、財政運営に及ぼす影響をどのように考えているか。

**市長** 健全化の判断基準となる指標は実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率です。現段階ではこの4指標とも良好で財政運営上、すぐに影響があるような状況ではない。

**問** 実質公債費比率が、14.9%となっているが、これから廃棄物処理施設や新体育館建設など大型事業が予定され約100億円近い起債が予測されるが、今後の推移は。

**市長** 過去の最終処分場やアスピラートなどの大型事業の償還が終息することから、現行の水準で推移すると考えている。

**問** 年々地方交付税が減額されているが、平成19年度より新型地方交付税制度が導入され、その影

響があるのか。

**市長** 新型交付税の影響額は平成18年度分で試算すると約6、600万円の減額になる。また国の地方財政計画において地方交付税は縮小傾向であり、今後も厳しい状況が続くものと考ええる。

**問** 新たな財源確保の取り組み状況は。

**市長** 平成19年度より広告掲載事業に取り組み、おり本市のホームページ上でのバナー広告を開始している。今後は公用車や各課の封筒などの広告掲載を進めていきたい。

**問** 市民参加型公募債の導入について。

**市長** 発行規模が1億円から3億円程度と小さくまた償還期間も5年程度でそれに伴う金利や管理コストなど課題も多く、今後の研究課題とさせていただきます。

#### その他の質問項目

市税収納対策について

### 限界集落（自治会）防止対策及び 防府読売マラソン大会について

重川 恭年（新人クラブ）

**問** 防府市第三次総合計画によると、2年後に65歳以上の老年者の割合が24%を超えるとあり、市内においても限界自治会が出てくると思われるが、市として今から対応策を考えるべきではないのか。

**市長** 当然ながら地域社会の活力が低下し、防災・福祉面なども含め地域全般に悪影響が出ることで危惧される、それでは積極的な定住対策を講じる必要があると考える。

**問** 何をどのように推進するのか。

**総務部長** 企業誘致やインフラ整備などを通じ、若者たちに働く場の提供や高齢者に安全・安心なまちづくりを目指していきたい。

**問** 防府読売マラソンは来年40回の記念すべき大会を迎えるが、市は主催者の一員として今後の振興策をどう考えているか。



防府読売マラソン

**教育長** 昭和45年当時から諸事情が大きく変化していることを認識し、課題解決に向け検討委員会を設置する。

**問** 制限時間の拡大やコースの見直し、参加者数の増加の他、女子の部やマスターズの部創設なども考えられないか。

**教育委員会参事** 検討委員会等で検討されると考える。

**要望** 別途、実行委員会設置なども含め多彩なアイデアで他地域の大会に埋没しないことを要望する。

### 後期高齢者医療制度について 児童遊園施設設備の改善を

山本 久江（日本共産党）

**問** 4月から始まる後期高齢者医療制度は、75歳以上の人を他の世代から切り離し、際限のない保険料負担増と差別医療を押しつける大改悪で、国に制度の中止を求めたいが、当面、重い保険料負担への市の軽減策が検討できないか。

**生活環境部長** 本市独自の軽減の実施は困難であると考えている。

**問** 現行の老人保健制度で禁止されている資格証明書の発行はしないではないがどうか。

**生活環境部長** 機械的な運用はせず、納付相談を通じて実態に即した対応をしたい。

**問** 国は生活習慣病で医療機関にかかった後期高齢者の健診を制限する方針をだしているが、希望者はすべて健診が受けられるよう要望してほしいがどうか。

**生活環境部長** 県広域連

合から、受診して差し支えないとの回答を得た。

**市長** 個人的には、国の対応は、納得がいけないものと感じている。機会あるごとに、市長会を通じて、是正すべきところは主張していきたい。

**問** 全国的に公園内の遊具による事故があとをたないが、児童遊園の遊具の安全対策と破損したフェンスや老朽化したトイレ（三田尻モデル遊園等）の改善は。

**土木都市建設部長** 修繕できるものは今年度中に実施し、修繕困難なものは新年度で撤去または更新する。三田尻モデル遊園のトイレは今後、予算化等検討したい。



### 後期高齢者医療制度 国民健康保険制度について

山根 祐二(公明党)

**問** 後期高齢者医療保険料は他の地域と比べてどうか。その理由は。

**市長** 山口県の保険料は平均で75,796円全国で7番目です。理由は1件当りの入院日数が全国1位、老人医療費が14番目で、慢性疾患等の長期入院者が多いためと分析されます。

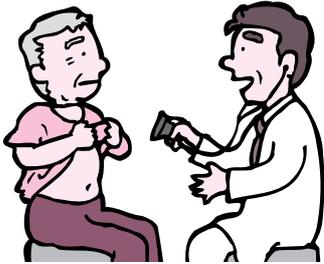
**問** 新たに保険料を負担する人の人数と、周知徹底の方法は。

**市長** 防府市で約1万5千人が後期高齢者医療に移行します。今まで被用者保険の被扶養者であった人の人数は把握できていません。本市では市広報、ホームページ、国保だより、FMラジオ等で周知徹底し集会等で説明します。国でも他に様々な方法で知らせていきます。

**問** 健康診査の内容は。

また、受診料自己負担金は無料にできないか。

**市長** 問診、計測、脂質・



肝機能検査に貧血検査を加え、受診券は被保険者に送付します。なお、自己負担金は公平性の観点から無料化は困難です。  
**問** 国民健康保険料は後期高齢者医療保険の影響も含めどうなるのか。  
**生活環境部長** 平成20年度からは、今までの国保医療分と介護賦課額に、新たに後期高齢者支援分が加わり三つの賦課額の合計となります。

### 行政改革の計画を明らかに!

田中 健次(市民クラブ)

**問** 行政改革委員会は、もっと情報公開を。

**市長** 全体会は公開ですが、専門部会は会議に諮り非公開となりました。

**問** 上下道の業務委託計画は?

**水道事業管理者** 今後、水道料金収納、配水課関連業務の委託を予定。

**問** 情報公開で入手の資料は一部黒塗りだが、平成20年度に宿日直、平成21年度に料金関連、平成22年度に配水課関連の業務が委託と推測され、2年強で水道局職員の40%削減となるが、どうか。

**水道事業管理者** 料金関係は平成21年度委託を考えているが配水課関連は人丸水源地や中央管理室の改修等があり、言われる時期とは若干違つ。

**問** 小学校給食の今後の民間委託計画は?

**教育委員会参事** 平成20年度に中関小、華城小の民間委託を予定。これ以



降の計画、親子方式の形は、具体的に示せない。

**問** 教育委員会の説明から考えると、平成21年度に松崎・新田、平成22年度に牟礼・佐波、平成23年度に華浦・右田で民間委託、牟礼南は牟礼、玉祖は右田と親子方式、富海、大道等が自校と

思われるが、違つか。  
**教育委員会参事** 親子方式は、保護者等の同意も要り、明らかにできない。

**市長** 私には初耳だ。小学校給食は、これまでの自校方式を貫きたい。  
**要望** 教育委員会は市長と意思疎通を。

**親子方式** A校(親)の給食室で調理し、B校(子)へも運ぶ方式。

### (仮称)まちの駅について

平田 豊民(政友会)

**問** まちの駅の設置理念について。

**市長** 拠点施設として、防府天満宮参道西に、まちの駅を設置し、市民参画によるホスピタリティの向上及び情報発信の強化を図り、回遊性と滞在時間の増加につなげようと思ひます。

**問** まちの駅の施設内容について。

**市長** 敷地面積約1、500m<sup>2</sup>、延べ床面積500m<sup>2</sup>程度を予定し、トイレ、休憩コーナー、観光案内、特産品の販売、飲食コーナー等を計画。会議室、展示・実演コーナーを含めて、また外観による景観形成や駐車場の設置には十分配慮いたします。

**問** 人的スタッフの構成は。

**市長** 観光施設としての機能を十分発揮するために公設民営とし、指定管理者による運営を想定し

万全な体制を整えます。  
**問** まちの駅設置後の将来構想は。

**市長** 観光資源を魅力ある観光散策ルートで結ぶには、防府市歴史美遊感計画に基づき回遊性を形成することが重要と考え、防府天満宮の大きな集客力をまちの駅を含む門前の賑いに結びつけ、市内の他のエリアに押し出して行くことで防府市全体の観光客の増加につなげたいと考えております。



### 市民に開かれた港をつくるっ！ 防府ウォーターフロントづくり！

松村 学（明政会）

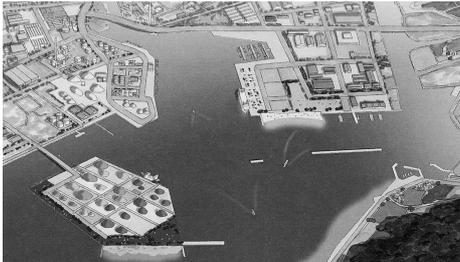
**問** この度、県が港湾計画を改訂し、三田尻地区において耐震強化岸壁、緑地4・5ha、人工島など、本格的に交流、防災の拠点として整備されますが、市としても、市民参画型の港の整備に着手すべきでは？

**市長** 県が進めるハード事業と一体となり、施設整備ができるようにソフト的な支援を行っていきたい。

**問** 市民の意見が反映された夢いっぱい港にするために、市民公募による検討委員会を設置しては？

**市長** 市民や港湾関係者で構成する（仮称）みなとづくり検討委員会」を組織し、今後、作成する「みなと振興計画」に反映させる。

**問** 築地地区にある市や県の管理する緑地帯は、利用勝手が悪いので、今後の港整備に合わせて、



三田尻中間港湾計画資料 三田尻地区イメージパース図

有効な空間整備ができませんか？

**市長** 今後、策定する「みなと振興計画」の中で、実現化に向けて十分議論していきたい。

**問** 平成22年に、当地区に環状1号線が開通予定で、今年の3月にロックシティと潮彩市場がオープンし、激しい交通渋滞が予測されるが、その対策は？

**市長** 関係機関と協議を重ね、信号機の設置など、早急に対応できるような、強く要望していく。

### ごみの減量対策と 家庭ごみの収集日の見直しについて

斉藤 旭（民友会）

**問** 本市のごみの実態と減量対策について。

**市長** 平成13年度と平成18年度を比較すると家庭ごみは減少しているが、事業ごみは増加している。減量対策として、家庭ごみについてはマイバック運動、レジ袋対策、生ごみ減量容器、電動生ごみ処理機などに対する補助の周知徹底や減量に関する啓発活動を強化。事業ごみは、分別排出の徹底と平成19年度より処理手数料の改定を実施。その結果を注視し、大量排出事業者には、ごみ減量計画の作成をお願いすることと検討したい。

**問** 本市の小・中学校での環境教育について。

**教育長** ごみ問題、エコ活動等の環境問題に目を向けた特色ある学習が展開されている。この度生活安全課より「環境副読本」が配布される事となりこれらを活用しながら、

各校の環境教育を一層推進したい。

**問** 家庭の可燃ごみの収集については、毎週月・木と火・金のコースで収集。平成18年4月より夏季を除き祝日収集を廃止しており、月・木のコースが火・金のコースに比べて収集回数が圧倒的に少なく、この不公平さは正のため、収集パターンを何年かごとに変更してはどうか。



**市長** 近年、月曜日を休日とする、ハッピーマンデー制度が実施されることにより、地域により、年間の収集回数が異なり、月・木コースの皆様には大変申し訳なく思っております。収集パターンを変更することは、長年の習慣で市民の皆様にご定着しておりますごみの排出に混乱の発生が予想されます。

**問** 市民の半数は女性であります。女性の声に耳を傾ける行政でなくてはなりません。政策決定の場に女性を登用し、提言を得ることは、課題解決への道を開くことになるが、本市役所の女性管理職（課長級）の登用はゼロである。女性職員の人材育成と女性管理職の登用はどうか。

**市長** 指摘のとおり平成19年4月から一人もいない状況です。管理職の候補は50歳代で、この年代の女性職員が極端に少ないことが第一の原因と考えている。また過去において女性職員に対する育成が充分なされなかったことも影響している。引き続き職員能力、実績、意欲、適正等を考慮して、適材適所を基本に積極的に女性職員の職域の拡大と管理職への登用に努めたい。

### 女性の登用について 「女性が活躍できる社会に」

山下 和明（公明党）

**問** 政策等を審議する各種委員会（審議会、委員会、協議会等）に女性委員を多く登用し意見を得ることは本市の将来のためになるのではないかと。

**市長** 女性の登用率は平成19年4月現在で24・73%に留まっている。女性委員の登用が少ない委員会等には人材発掘、推薦団体の協力をお願いし、多くの女性委員の登用に取り組んでいく。

**その他の質問項目**  
児童扶養手当の受付、交付期間において時間延長することはできないか。



# 常任委員会の審査報告

3月定例議会では、各常任委員会に付託された案件について審査が行われました。ここでは、平成20年度予算についての質疑応答、意見、要望などの主な内容をお知らせします。

(2月26日、3月10、12、14日開催)

## 総務委員会

法人市民税の見直しについて、平成19年度の収入見込みの約95%での計上となつていますが、円高等による影響も懸念されるので注視する必要があると説明がありました。

現在の第3次総合計画が平成22年度までの計画であるので次期総合計画の策定にあたって、市民の皆様からご意見やご提言をいただくためにまちづくり委員会を設置し、市民アンケートを実施する経費が計上されています。

老朽化して使用ができなかった宮市分団消防器庫が佐波中学校のグラウンドの南側に新築移転いたします。



宮市分団消防器庫

財政調整基金と減債基金の残高合計が、平成20年度末で約30億円程度に減少することについて、毎年、約10億円程度の財源不足が生じているので、更なる行

政改革を進め、戦略を練って財政の建て直しを図りたいとの説明がありました。

市役所1号館1階への多目的トイレの設置にあたっては、福祉部門に近いことでもあり市民の声を取り入れ、喜ばれるものにしてほしい。また、配偶者等からの暴力相談窓口の案内カードを民間施設へも置いて、啓発に努めてほしいとの要望がありました。

競輪事業特別会計では、歳入で車券発売金収入を12.6億5千万円と見込むとともに、歳出では、開催に伴う経費を計上しています。競輪ファンへのお茶の提供は、新しく自動販売機を設置して行われます。

## 教育民生委員会

保育料の軽減については、保育料の月額規定の階層の内、1階層から3B階層までは10%を、4A階層から7階層までは5%を現行の保育料から減額を予定しているとの説明がありました。

青少年科学館の展示更新については、今ある展示物は、置いておくことを基本

にしますが、2階の「自然のコーナー」の「昆虫の目」のコーナーは、市民参加型の、高校・中学校の理科部等の発表の場へ変更します。新たに、1階に科学の資料コーナーを設けて、この10年間に開催したいいろいろな教室をデータベース化し、来館者に見ていただく映像装置を設置したり、作品の展示ケースを置くことなどを予定していますと説明がありました。



青少年科学館(ソラル)

華城小学校・中関小学校の給食調理等業務委託については、衛生管理は、小学校給食の民間委託を行う業者の選定において、文部科学省の基準、あるいは学校給食について十分な理解を持つことなどの条件を設定し、要求水準書の中で調理業務等の実施体制について、3年以上の実務経験を有する管理栄養士、または栄養士を業務責任者とするなど等を記載して、衛生管理の徹底と安全管理が図れる業者に委託しますので、業者がきちんと日常点検を実施します。業者が文部科学省基準の点検項目を守っているかという点検は、学校栄養士が行います。

学校栄養士の給食へのかかり方や衛生管理については、山口労働局に確認しています。調理員の人数の特定は出来ませんが、文部科学省の基準を十分理解している業者を選定するので、人員の配置は

配慮するものと考えていますと説明がありました。

また、民間委託の推進については、これからPTA総会、保護者、教職員等の会合等に出向いての説明や、再度、リーフレット、市広報、ホームページ等で方針を示し、質問があれば、それに答えていくことで、今まで以上にコミュニケーションを図りながら、御理解をいただきたいと考えていますとの説明がありました。

後期高齢者医療制度関連予算や、給食調理等業務委託、保育所民間移管に関する経費やごみの民間委託等が計上されていること、国民健康保険料を引き下げるために国保などの特別会計へもつと一般会計から繰り入れをすべきである等の反対意見も出されましたが、採決の結果、原案のとおり承認されました。

## 経済委員会

竹繁茂対策事業は、竹炭釜を購入する団体に補助するもので、今回、中浦自治会へ20万円補助されるとの説明がありました。

また、竹繁茂対策の取り組みとして、現在ボランティアで佐波川上流の植林に取り組んでいる団体があります



ボランティアによる竹林整備

が、将来的には市内にも多くのボランティアを育成して竹繁茂対策にあたっていただきたいとの説明がありました。

単独市費土地改良事業は、平成19年度に、71件の申し込みがあり、今回は補助金が交付できる件数が47件で積み残しが24件との説明がありました。多くの件数を処理したいと考えますが、ため池改修の1件あたりの補助金額が大きく、平成18年度は12件、平成19年度は13件あり、予算的に大きな割合を占めているとの説明がありました。

農業公社は、平成19年度の経営は改善の方向に向かっており、3月末の農業公社の理事会で人件費の返還金の額を決め、市に戻したいという説明がありました。また、市として補助金なしで事業を行うよう指導、提言等はしていますが、経営が不安定な状況もありますので、もう2、3年は補助金が必要という説明がありました。

「まちの駅」の位置決定が遅れ、実際の基本計画自体が遅れて繰越でお願いしていますが、平成20年度に実施設計をするにあたり、国への協議あるいは申請がありますので、その時間的な経緯を考えまして、実施設計を当初予算でお願いしているとの説明がありました。予定では、5月末くらいまでに基本計画を完了して、実際に実施設計に取り掛かるのは8月くらいになるとの説明がありました。また、観光振興対策調査特別委員会、経済委員会、観光振興懇話会にも提示して意見をいただきましたとの説明がありました。

「まちの駅」の設計業務等の実施設計作

成にあたっては、市民、関係者、周辺店舗議会とも十分に協議を進めて、共に活気が出るまちづくりの対策をしていただきたい。また、歴史美遊感計画に基づいた歴史的文化財が回遊できるまちづくりを進めていく上で、一極集中にならないように、具体的な対策をだしていただきたいとの要望がありました。

索道事業については、ロープウェイ開業50周年記念事業として、年度間を通してのフォトコンテスト、8月と9月の中旬までの金・土・日曜日に夜間運転の実施、来年3月末には記念イベント等を考えています。さらに、つつじまつり、観月会等に例年以上に力を入れたいとの説明がありました。また、新年度は、誕生日にロープウェイを往復利用される方の運賃割引として、リースデー割引を行い、利用された方には記念品を贈呈するとの説明がありました。



50周年を迎える大平山ロープウェイ

## 建設委員会

市道に架かる橋りょう719橋のうち、375橋の健全度把握調査を、今後4年間で実施し、まずは15メートル以上の26橋について調査し、その後は徐々に延長の短いものを対象とするとの説明がありました。

勝坂団地の解体工事は、建物が既に耐

用年数を過ぎていたため行うもので、現在入居されている方とは、住み替えにご協力いただけるよう協議をしている。全入居者の住み替え後に、全ての建物の解体を行いたいとの説明がありました。



まちの駅建設予定地

歴史を活かしたまちづくり事業の経緯と今後の進め方は、毛利氏庭園前から国分寺前までの都市計画街路新橋牟礼線整備が完成に近づいたことから、旧山陽道、萩往還道が重複する市道新橋阿弥陀寺線の整備を検討していたが、「まちの駅」を含めた効率の良い事業とするため、まちづくり交付金事業としての採択をつけようとするものであり、今後は周辺住民の方々へ事業説明をし、景観

## 観光振興対策調査特別委員会（2月21日開催）

観光ルートの拠点として建設予定の観光交流施設「まちの駅」について、協議いたしました。建設候補地については、観光客の動向、各観光施設や既存の観光関連店舗などの相乗効果を勘案し、天満宮参道西で今後、協議を進めるとの説明がありました。施設規模は、敷地面積が約1、509平方メートル、延べ床面積が約500平方メートルの木造で、外観は、歴史観のあるモノトーンの和風デザインを想定し、施設内には、観光情報・休憩・展示・特産品・飲食の各コーナー

に対する配慮への啓発に努めるとの説明がありました。

また、この事業は全体の整備計画を早期に県へ提出する必要がある、詳細が分かりにくい部分も多いが、整備計画承認後に実施設計を開始するため、その作成段階で皆様のご意見をお伺いし、事業を進めていくとの説明がありました。

今後、まちづくりの進め方に関する事業計画等は、効率的に作業を行い、市民や議会に対して早急に提示をしていただきたいとの意見がありました。

下水道事業では、雨水対策、高潮対策事業として勝間ポンプ場建設を県との合併施工で行い、平成29年度を事業完了予定としているとの説明がありました。

水道事業では、退職者不補充等により人件費を削減しており、今後も外部委託を計画的に行い、それに見合う経費の削減をすすめていくとの説明がありました。

1、事務室・会議室を予定しているとの説明がありました。

委員会では、駐車場、交通安全対策や地元との調整についての質疑や統一感のあるまちづくりが必要との意見がありました。この「まちの駅」の建設は、まちづくり交付金事業の中ですすめられる予定ですが、他にも車両系誘導看板、電線類の地下埋設、道路の舗装整備や地域資源ガイド育成事業、安心・安全推進事業、景観保全形成推進事業、まち並み景観保全育成事業等が予定されています。

# 議会日誌

## 2月

- 8日 勉強会  
・(仮称)まちの駅
- 12日 説明会  
・水道局の業務委託  
教育民生委員会(所管事務調査)  
・保育所の民間移管・学校給食
- 18日 勉強会  
・市立保育所民間移管の中間報告・小学校給食
- 20日 議会運営委員会  
総務委員会(所管事務調査)  
・市民参画
- 21日 勉強会  
・新年度予算、条例改正等  
観光振興対策調査特別委員会  
・防府市観光交流施設(まちの駅)
- 25日 3月定例議会開会  
広報編集委員会
- 26日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会、  
経済委員会、建設委員会)  
建設委員会(所管事務調査)  
・道路行政  
教育民生委員会(所管事務調査)  
・清掃事業
- 28日 本会議(委員長報告、市長施政方針演説)
- 29日 本会議(新年度予算審議)

## 3月

- 4日 本会議(一般質問)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 7日 会派会長会議  
勉強会  
・まちづくり交付金事業
- 10日 総務委員会
- 12日 教育民生委員会



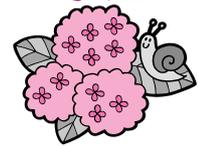
- 13日 経済委員会
- 14日 建設委員会  
議会運営委員会
- 19日 会派会長会議
- 24日 3月定例議会閉会  
議会運営委員会
- 25日 広報編集委員会

## 4月

- 10日 広報編集委員会
- 11日 教育民生委員会(所管事務調査)  
・新体育館建設
- 17日 広報編集委員会
- 21日 建設委員会行政視察(～23日)  
・まちなか定住促進事業、中心市街地活性化計画(金沢市)  
・岐阜町発祥の地・まちなか歩き構想(岐阜市)  
広報編集委員会
- 23日 総務委員会行政視察(～25日)  
・競輪事業の民営化(豊橋市)  
・おだわらルネッサンス(小田原市)  
・協働まちづくり事業、月見の里学遊館(袋井市)
- 28日 勉強会  
・市民参画懇話会の経過報告

## 6月定例議会の予定

- 11日 本会議(開会)
- 17日 本会議(一般質問)
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問)
- 23日 常任委員会(総務委員会・経済委員会)
- 24日 常任委員会(教育民生委員会・建設委員会)
- 27日 本会議(閉会)



会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

## 編集後記

表紙は、大平山のふもと、森開とした木立のなかにたたずむ古刹「阿弥陀寺」の境内一円に咲き誇るあじさいです。

茅葺の仁王門を抜け、古い湯屋や石風呂が脇に残る石段を登ってゆくと、江戸中期再建の本堂や護摩堂、経堂などが並んでいます。また境内には約80種4,000株のあじさいが植えられ、開花時には色とりどりの花がほころび、西日本一のあじさい寺として有名です。例年、6月中旬頃あじさいまつりが開かれており、多くの方が訪れています。

今3月議会では、私たちの議会活動の中でも特に重要な平成20年度当初予算の審議が行われました。各委員会とも十分な時間をかけて慎重な審議が行われました。また一般質問は、紙面に限りがあり、質疑内容の全てを掲載するわけにはまいりませんが、質問者本人が要点をまとめたものを編集しています。これからも内容の充実に努めてまいります。

表紙の写真は、中川精次さん(迫戸町)の提供です。

## 議会広報編集委員会

- 藤野文彦 斉藤 旭
- 久保玄爾 高砂 朋子
- 安藤二郎 三原 昭治
- (委員長、副委員長)